

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 中村 彰良	(学部) 経済学部
1 重要事項 研究 予算管理の問題点として、予算が固定的な目標ととらえられることにより、その達成を目指すことで、環境変化に適応できない行動がとられることが指摘されている。また予算を自分に有利なように編成しようと影響力を行使することで、余計なコストを企業にもたらしすることも指摘されている。このような問題を解決するのに有効な手法として脱予算管理が提唱されている。 欧米の企業とアジアの企業とでは、文化的な面でも違いがあるので、脱予算管理の有効性に違いが生じるのではないかという点について研究を行った。成果は論文として近日中に公表する予定である。 教育 前年度に発行した『基礎簿記』を初めて授業で使った。今のところ教科書についての課題は明確になっていない。ただ受講者が少なかったこともあるかもしれないが、例年より理解度が上がっているような気がした。 管理会計論については、前期、後期に分けていたものを後期だけの科目にしてから数年が経過した。後期だけの科目にした当初は予定した内容を講義できないこともあったが、予定通りに進めることができるようになってきた。 夏休みの終わりにゼミの合宿を行った。合宿ではチームに分かれてビジネスゲームを行った。	
2 その他の事項 職域代表として労使協議に参加した。 高崎経済大学経済学会監事として会計監査を行った。	